

GW後の子どもの感染拡大を抑制する取組について

【現状分析】

- 人の流れが活発になったこともあり、**過去最多の陽性者数を記録**。
- その中でも年代別で感染者が最も多いのは**10代（男＞女）**
- 主な感染経路は**家庭、友人、部活動関連**と推測される。
- **学校PCRも追いつかない**くらいの感染スピード
- 若い世代から、**重症化リスクの高い高齢者に感染を防ぐことが重要**

【テーマ、主なポイント】

- 子どもの感染拡大を抑えるための**即効性がある対策・呼びかけ**を実行する。
- 子どもの感染が家庭内に広がり、重症化リスクの高い高齢者等に感染者が出ることを防ぐ。
- 5月末までに一定程度感染を抑え込み5月27日から始まる高校総体やその後開かれる中体連などの大会を実施することができるよう**重点的に2週間（5/26まで）**は関係者が協力して対策を実施。
- **学校や経済界、マスコミ等を通じて子どもを守るための対策・呼びかけを子ども・保護者に周知**する。

子どもを守るための対策・呼びかけ（6つの場面） ～5/26（木）

①登校時

- 登校前に**健康状態をチェック**し、有症状時には登校を控える。

②教室・屋内では

- 自宅以外の屋内では**マスクを着用**する。
- **風通しの悪いところでは長時間の会話**を避ける。

③部活では

- 部室など室内では**こまめに換気し、マスクを着用**する。
- 着替える際は順番を決めるなど**部室で密にならない**。
- 練習はいつものメンバーで行い、**他校との練習試合は延期**する。
(ただし抗原キットで陰性確認すれば可)

④学童・塾では

- **換気を徹底**する。
- マスク着用、黙食など**学校の教室に準じた対策**を実施する。

⑤下校・帰宅時

- 学校や部活、塾が終わったら**まっすぐ帰宅**し、**多人数での飲食はしない**。

⑥自宅では

- 友達と**家では集まらない**。
- 同居家族も**感染リスクの高い行動はしない**。
- 療養に備えて**市販薬、スポーツ飲料等の準備**をする。